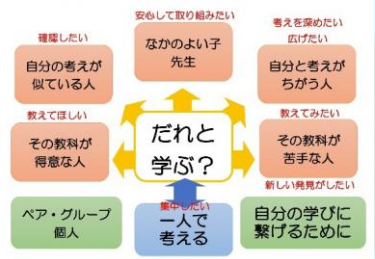
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

新地町立福田小学校（福島県）【指定校】

【取組内容①】「子どもを主語にした個別最適な学び」の実現に向けて

「子どもを主語にした学び」の実現に向けて



「児童に身につけさせたい力」
○ 「課題、課程、形態、ツール、空間、ペース」を自分で決め、学習の見通しを持って「どう学ぶか」を自分自身で考え、実践できる力。

そのためには…

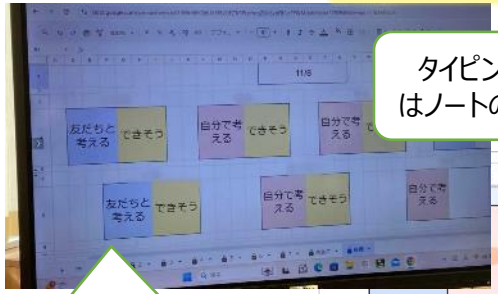
低学年から「自己決定」できる場を多く設定し、系統的・継続的に取り組むことが必要

6年生

学習計画は「自分で決める。」

家庭学習も「子どもを主語」に。

2年生



タイピングはまだ難しくても、振り返りはノートの写真を使って。

「どう学ぶか」「自分の状況」を共有。

5年生

友だちの「学び方」を確認しながら。

低学年から、自己決定できる場面を多く設定し、学びやすい環境を自分自身で考え、決めながら学習を進められるように取り組んできた。

児童の感想をみると「自分のペースで進められるからとてもやりやすい。分からないところがあっても友達が教えてくれてスムーズに進められて嬉しいです。」といった肯定的な意見が多く見られた。

今後も「どう学ぶか」を児童自身に委ねていくことで、「子どもを主語にした」学びを推進していきたい。